

## 文学部英米学科2021年度カリキュラム 卒業必要単位数：124単位

<p style="text-align: center;"><b>卒業認定・学位授与の方針</b> (ディプロマ・ポリシー：DP)</p>	<p>英米文学科は、教育の理念に基づいて定められた下記の5つの力を身につけ、所定の期間在学し、必要な科目を124単位以上修めた学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>(DP1) 建学の理念を実践する力〔理解、関心、意欲、態度、主体性〕 建学の理念を踏まえ、広範で多様な人文科学領域の基礎的知識を積極的に修得し、問題の発見と問題の解決の能力を有している。</p> <p>(DP2) 幅広い教養、多様性の理解と尊重〔知識、理解、関心、意欲、態度、主体性、多様性、協働性〕 英米を初めとする英語圏の文学および英語学についての体系的な知識と幅広い教養を身につけ、現代社会が抱える諸問題に多角的な観点からの確に対応できる。その際、国内外の多様な文化・価値観の違いを理解しようと試み、他者を尊重することができる。</p> <p>(DP3) 情報分析力と問題解決力〔技能、思考力、判断力、表現力〕 多様な情報を収集・分析して適正に判断・思考する力を身につけるとともに、問題の発見や問題の解決の前提となる効果的な表現力・発信力を身につけている。また、国内外の多様な資料やデータを解析し、解釈や評価を下す能力がある。</p> <p>(DP4) コミュニケーション能力〔技能、思考力、判断力、表現力〕 レポートや論文等の作成能力およびプレゼンテーション技術を身につけ、自らの考えを論理的かつ明確に伝えて、他者と主体的に協働することができる。</p> <p>(DP5) 専門分野の知識・技能の活用力〔知識、技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性〕 体系的に修得した各専門分野の知識・技能を活用し、豊かな創造力と表現力を持って社会の発展に貢献することができる。また、国際的視野に立って、直面する現実社会の中で、知識・技能を活かすことができる。</p> <p>英語学においては、古今の英語の特質を実証的に解明することによって、広く英語の言語文化を体系的に把握する。英文学・米文学においては、中世から現代にいたる古今の英語で書かれた文学的的確な読解を通じて、広く英語圏の人々の感性のありようを理解する。言葉をめぐって、文化や芸術を学ぶことは自分を再発見することに通じる。</p>
<p style="text-align: center;"><b>教育課程の編成方針</b> (カリキュラム・ポリシー：CP)</p>	<p>英米文学科では、国際人の素養としてまず日本人の基本精神を支える仏教への理解を深め、人文・社会・自然にわたる幅広い学問分野を修得し、移り変わる現代社会の様々な要求に対応できる総合的・基礎的な力を養う。その上で、中世から現代までのイギリス文学やアメリカ文学、文学そのものを成立させている英語学を三つの柱として、豊かな感受性ととも人間と社会に対する深い洞察力を養い、様々な文化環境において柔軟に対応し、国際化社会において協調して活躍できる人材を育成することを念頭に置く。</p> <p>教育内容、教育方法、評価については下記に定める内容に従う。</p> <p>1. 教育内容 1) 専門基礎教育として、1年次に必修科目を置く。高校で修得した英語力を確認し、大学での専門教育への橋渡しとする「英語演習」、2年次以降の専門教育への導入として、イギリス文学・アメリカ文学・英語学の基礎的な知識、研究方法、問題の発掘の仕方などを学ぶ「作品講読」、「英語学概論」を開講する。 2) より専門性の高い講義科目として、「イギリス文学史Ⅰ」、「イギリス文学史Ⅱ」、「アメリカ文学史」、「英語史」を通して幅広い見通しを持てるようにし、特講・演習科目で各領域・各時代の特殊な内容を学び、自らの専門分野の知識と問題意識をさらに高める。 3) 3-4年次にかけて、少人数クラスによる演習科目(ゼミ)を組み合わせることで、専門発展教育を行なう。問題提起、分析と読解、討論、論述を実践的にこなすことにより、自立的で自主的な学習態度を徹底させ、自らの見解を論理的に構築できるよう育成を目指す。 4) 3年次までの学修をもとにし、より限定された専門分野を深く考究し、卒業論文として成果をまとめる。専門的な調査・研究・資料作成・発表の成果を形にする。</p> <p>2. 教育方法 1) 高校での学習と専門的な大学での研究に必要な知識や方法の習得が可能になるように基礎力の磁認を丁寧に行う。 2) 多様な価値観、時代背景、文化的土壌を踏まえつつ、様々な角度から文献や資料を読み解くことができるように授業を展開する。 3) 事前に演習の履修説明会を行い、ゼミの内容を知らせることにより、ミスマッチを出来る限りなくす。少人数制の授業により、他者と協働する力やコミュニケーション能力を鍛えるのに適した授業を行う。また、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業とする。 4) 演習科目(ゼミ)履修生全体に対する指導とともに、学生の個別の指導によりきめ細かな指導を行う。個別指導を通して、担当教員と学生との密接なコミュニケーションを促し、学んだ知識の理解を深めるようにする。</p> <p>3. 評価 英米文学科では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、入学受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)の3つのポリシーに基づき、学生の入学時から卒業後までの成長を視野に入れ、学修成果の評価・測定を行う。</p>
<p style="text-align: center;"><b>入学受け入れ方針</b> (アドミッション・ポリシー：AP)</p>	<p>志望の動機として、コミュニケーション・ツールとしての英語の運用能力を高めるだけでなく、言語としての英語の成り立ちや、英米の文学作品や作者について関心があり、言葉の分析や読解に積極的に取り組める学生を求めている。3年次には少人数制のゼミを必修科目として設けて、他者と協働して互いに高め合う意識も重視している。「卒業論文」を必修としているので、長期的な展望を持ち、忍耐強く研究に取り組むことができる学生が望ましい。駒澤大学の建学の理念を理解した上で、自ら問題提起し、堅実な研究を通じて答えを模索する学生を期待する。なお、多様な人材の発掘を目的として多面的な視点から多様な入学選抜を行う。</p> <p>1. 英米文学科が求める学生像 (AP1) 英語や日本語の運用能力があるだけでなく、英語圏の社会・歴史・文化に関する基礎的な学力が身につけている。[知識、理解、技能] (AP2) 本学の建学の精神に基づき、英語圏の世界に興味を抱き、言葉や人間に対する理解を深めようとする意欲と目的意識を持つ。特に、英米文学・英語学の学問分野に強い関心があり、それを支える幅広い知識・読書経験を有する学生を求めらる。[意欲、関心、態度] (AP3) 入学後に、プレゼンテーションやディスカッションなどが支障なくできる能力がある。日頃から、広く国際社会の問題に目を向けており、自身の意見を積極的に表現することができる。[思考力、判断力、表現力] (AP4) 英語圏の文学・文化を深く学ぶとともに、英語圏以外の多様な社会の文化や伝統を尊重し、異文化交流に一定の理解がある。[主体性、多様性、協働性]</p>

科目分野		1年次			2年次			3年次			4年次			
専門教育科目： 70単位 ■必修： 32単位 ◆選択必修： 8単位 ●選択： 30単位	専門選択科目 (30単位)	通年科目	DP (1~5)	科目NO.	通年科目	DP (1~5)	科目NO.	通年科目	DP (1~5)	科目NO.	通年科目	DP (1~5)	科目NO.	
		●英米文化(4)	1・2・3	3221015500	●イギリス文学特講Ⅰ(4)	1・2・3・4	3221004100	●アメリカ文学演習Ⅴ(4)	1・2・3・4・5	3221002000				
					●イギリス文学特講Ⅱ(4)		3221004200	●時事英語(4)		2331103600				
					●イギリス文学特講Ⅲ(4)		3221004300	●ラテン語(4)		2311190700				
					●イギリス文学特講Ⅳ(4)		3221004400	●ギリシャ語(4)		2311048700				
					●イギリス文学特講Ⅴ(4)		3221004500	●商業英語(4)		2331096200				
					●イギリス文学演習Ⅰ(4)		3221003400	●外国文学(4)		2231025600				
					●イギリス文学演習Ⅱ(4)		3221003500	●英米思想史(4)		2141015400				
					●イギリス文学演習Ⅲ(4)		3221003600	●現代美術(4)		2431059300				
					●イギリス文学演習Ⅳ(4)		3221003800	●日本文化史(4)		2511165610				
			●演劇特講(イギリス・アメリカ)(4)	3221015900	●英作文演習(4)		2333014400							
			●アメリカ文学特講Ⅰ(4)	3221002200	●英語学演習Ⅰ(4)	2331012700								
			●アメリカ文学特講Ⅱ(4)	3221002300	●英語学演習Ⅱ(4)	2331012800								
			●アメリカ文学特講Ⅲ(4)	3221002500	●英語学演習Ⅲ(4)	2331012900								
			●アメリカ文学特講Ⅳ(4)	3221002600	●英語学演習Ⅳ(4)	2331013000								
			●アメリカ文学演習Ⅰ(4)	3221001600	●オーラル・イングリッシュ(2)	2331017000								
			●アメリカ文学演習Ⅱ(4)	3221001700	●翻訳演習(4)	2331185680								
			●アメリカ文学演習Ⅲ(4)	3221001600	●TOEIC (R) ・TOEFL (R) 講座(4)	2331149580								
			●アメリカ文学演習Ⅳ(4)	3221001700	●キャリア・プランニング(4)	3111042240								
	専門演習 ・ 卒業論文 (12単位)	<b>必修(12単位)</b>						3年次ゼミ(4)	卒業論文(8)	4年次ゼミ(4)	2023131600	2013190600		
	専門基礎科目① (8単位)	<b>必修(8単位)</b>												
		通年科目	DP (1~5)	科目NO.										
		●英語学概論(4)	1・2・3	2331013200										
		●英語演習(2)	1・2	2331011510										
		●スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ(2)	1・2・3・4	2331114300										
	専門基礎科目② (20単位)	<b>必修(12単位)</b>												
		通年科目	DP (1~5)	科目NO.										
		●英語史(4)	1・2・3	2331013600										
		●英語表現法(4)	1・2・3・4	2331014100										
		●作品講読(2)	1・2・3・4	3221075290										
		●スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ(2)	1・2・3・4	2331114400										
		<b>選択必修(8単位)</b>												
		通年科目	DP (1~5)	科目NO.										
		●イギリス文学史Ⅰ(4)	1・2・3	3221003900										
		●イギリス文学史Ⅱ(4)		3221004000										
		●アメリカ文学史(4)		3221002100										
全学共通科目： 32単位	宗教教育科目 (4単位)	通年科目	DP (1~5)											
		仏教と人間(4)	1											
	教養教育科目 (人文：4単位、 社会：4単位、 自然4単位、 ライフデザインは 広域選択)	人文分野 通年科目もしくは半期科目	DP (1~5)											
			人文分野科目(2もしくは4)	2										
		社会分野 前期科目 DP (1~5) 後期科目 DP (1~5)	社会分野 通年科目もしくは半期科目		DP (1~5)									
			日本国憲法(2) 2 法学の基礎(2) 2	社会分野科目(2もしくは4)		2								
		自然分野 前期科目 DP (1~5) 後期科目 DP (1~5)	自然分野 通年科目もしくは半期科目		DP (1~5)									
			ICTリテラシー(2) 2 自然分野科目(2) 2	自然分野科目(2もしくは4)		2								
		<b>ライフデザイン分野</b>												
		通年科目もしくは半期科目												
新入生ゼミナー(2)		2・4												
ライフデザイン分野科目(2もしくは4)		2												
外国語科目 (14単位)	前期科目 DP (1~5) 後期科目 DP (1~5)	前期科目 DP (1~5) 後期科目 DP (1~5)												
		英語ⅠAa(1) 英語ⅠBa(1) 4	英語ⅠAb(1) 英語ⅠBb(1) 4	英語ⅡAa(1) 英語ⅡBa(1) 4	英語ⅡAb(1) 英語ⅡBb(1) 4									
		ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語ⅠAaのいずれか1科目(1) 2・4	ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語ⅠAbのいずれか1科目(1) 2・4	ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語ⅡAaのいずれか1科目(1) 2・4	英語、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語ⅡAbのいずれか1科目(1) 2・4									
		ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語ⅠBaのいずれか1科目(1) 2・4	ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語ⅠBbのいずれか1科目(1) 2・4											
保健体育科目 (2単位)	通年科目	DP (1~5)												
	健康・スポーツ実習(2) 健康・スポーツ論1(2)													
広域選択：22単位		各科目区分の卒業必要単位数を超えて修得した単位												
履修モデル単位数		22科目 48単位			17~19科目 44~48単位			8~9科目 32~36単位			3~4科目 26~20単位			
年間履修制限単位数		48単位			48単位			48単位			48単位			